

宮座の乏少地域の東北地方の一事例

稲雄次

東湖八坂神社祭統人行事の場合

One Case Example in Tohoku Area with less *Miya-za* : The *Tonin* Festival of Tokoyasaka Shrine
INE Yuji

はじめに

① 統人行事

② 統人

③ 結論的考察

【論文要旨】

村氏神祭祀組織の形態としての宮座は近畿周辺に濃密な分布がある。しかし、近畿以外の地方の祭祀形態との比較により、宮座慣行のさらなる特徴を知ることができる。そこで乏少地域とされる東北地方の一事例をもとに宮座の成立要因を探ろうと試みた。秋田県の旧天王町（現潟上市）と男鹿市船越のふたつの地域に跨って祀られている東湖八坂神社の祭典の統人（トウニン）行事は国の重要無形民俗文化財に指定され

ている。この統人行事の祭祀組織を考察するのが本稿の主目的である。ここでは祭祀組織の中心的役割を担う人物を統人といい、この統人制の継承こそが東湖八坂神社祭の中枢であることを説明するものである。

【キーワード】 統人、東湖八坂神社、お竹、おはき様、牛乗り、くも舞